

国立病院理学療法士協議会

九州部会

会報誌 No. 21

Sep.2016



国立病院理学療法士協議会 九州部会

目 次

| | |
|----------------|----|
| 巻頭言 | 1 |
| 会 告 | 2 |
| 活動報告 | 3 |
| 活動計画 | 10 |
| 学会報告・会員投稿 | 13 |
| 議事録 | 14 |
| 役員名簿 | 17 |
| 第 44 期部会スケジュール | 18 |

チームワークを高めよう！

国立病院理学療法士協議会九州部会

会長 梶原 秀明（大分医療センター）

4月に発生した熊本・大分を中心とした地震により、自宅や実家に大きな被害を受け、不便な生活を余儀なくされておられる会員の皆様もおられます。心からお見舞い申し上げます。まだ地震活動は落ち着いておらず不安な生活は続きますが、一日も早い普及を祈ります。

暗い話題ばかりではありません。先日閉幕したリオデジャネイロオリンピックでは、日本人の活躍が光りました。過去最高の41個のメダルを獲得することができました。水泳・体操競技のメダル獲得に日本中が湧くなか、女子レスリングの終了間際の逆転金メダルや、男女卓球、女子バドミントン、男子テニスと長時間に及ぶ熱戦を制したメダル獲得もありました。中でも私が最も感動したのは陸上男子400mリレーでの見事なバトンパスでの銀メダルです。100mのファイナリストが一人もいないチームがああチームワークで世界を驚かせたのです。

足元を見直すと、リハビリテーション科では、徐々に大所帯となる職場において複数の資格を持った職種の集まりならではの問題も起こりやすくなっています。現在、作業療法士協議会、言語聴覚士協議会と共同し、「職場環境を考える会」という組織を発足させ、今後活動を始めようとしているところであります。チームワークを高め、職場の基礎をしっかりと固め、来るべき2025年問題、そして厚生労働省が策定する「保健医療2035」に向け対応していきたいと思います。

さて、今回の診療報酬改定では目標設定等支援・管理料、退院後訪問指導の新設や、退院支援看護師の配置による加算算定の開始など、より適切な病床の使用や早期の在宅への移行を急速化させる動きが顕著となっています。その波に対応するためには職場環境が強固なものでないといけません。現スタッフにもそして今後夢を持って入職してくる後輩たちのためにも未来のある職場を作っていきましょう。

最後に、今年の11月11～12日にかけて沖縄県で開催される第70回国立病院総合医学会では九州開催ということもあり、会長施設の九州医療センターを中心に当部会と連携を取り準備を進めてまいりました。学会当日は参加される会員の皆様に盛り上げていきましょう。

事務局より

平成 28 年度(第 43 期)国立病院理学療法士協議会九州部会総会開催のお知らせ

会員各位

国立病院理学療法士協議会 九州部会
会 長 梶 原 秀 明

第 43 期総会、研修会、職場長会議、理事会ならびに懇親会を下記のとおり開催いたします。ご多用のこととは存じますが万障お繰り合わせのうえご出席下さい。

記

| | | |
|------------------|------------------|---|
| 会 会 住 日 | 期 場 所 程 | 平成 28 年 9 月 10 日 土曜日 国立病院機構福岡東医療センター 研修センター2・3（外来管理診療棟 3 階） 福岡県古賀市千鳥 1 丁目 1-1 |
|------------------|------------------|---|

| | |
|-------------------|---|
| 11 : 00～12 : 00 | 理 事 会 |
| 12 : 00～13 : 00 | 職場長会議 |
| 13 : 00～13 : 30 | 総 会 受 付 |
| 13 : 30～15 : 00 | 第 43 期 総 会 |
| 15 : 10～16 : 10 | PT・OT・ST 合同研修会 テーマ：『ハラスメントを考える』-働きやすい職場をめざして- 講師：国立病院機構九州グループ 医療担当 理学療法専門職 羽島 厚裕 氏 |
| 16 : 15～16 : 45 | 理学療法専門職・作業療法専門職との懇談会 (PT・OT・ST 合同) |
| 17 : 30～19 : 30 | 懇親会 (PT・OT・ST 合同) 会 場 山賊鍋 古賀店 古賀市天神 4 丁目 9-40 会 費 3,500 円 |
| 理事会・総会 予 定 議 題 | 1. 第 43 期活動報告・決算 2. 第 44 期活動計画・予算案 3. 「職場環境を考える会」の設立について 4. その他 |

国立病院理学療法士協議会 九州部会活動報告

第 43 期 活動報告

総括

今期の九州部会は、職場の組み立てに必要な情報収集や提供体制の拡充に重点を置いて活動を計画したが、十分な情報提供が行えなかった感がある。

学術面について、研修では新たな取り組みとして神経筋疾患についての研修や、中堅職員に対する研修を行うことが出来た。心臓リハビリの研修も継続して実施できており、第 4 回目を数えることが出来た。関係スタッフには大変感謝申し上げたい。学会関係では、当協議会も参画している医療技術協議会主催の医療技術学会が第 10 回（20 周年）という節目を迎え、盛大に開催された。学会・意見交換会では九州グループの幹部を来賓として招聘しており、会を重ねるごとに医療技術協議会組織の認識は高まってきているものと思われる。

新人教育の面では、新人教育担当者（プリセプター）養成講習会の開催も 4 回目を数え、体制がほぼ整いつつある。キャリアアップシステム委員会の活動成果がみられたものと評価する。

その他、会報誌について、厳しい予算の中ではあるが、昨年同様年 2 回発行のうち 1 回は毎期の活動の締めくくりとしての業績集及び総会資料という形で発行させることができた。地区の活動についても理事の代行地区が多い中、活動を継続して頂いている。

今後も引き続き、事業の成果が見える形で継続していきたい。

活動内容

| | |
|------------|---|
| 会長・ 副会長 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 本部協議会開催行事 <ol style="list-style-type: none"> 1) 第 28 回 国立病院理学療法士協議会理事会 (H27. 10. 1 札幌市：梶原) 2) 第 42 回 国立病院理学療法士協議会総会 (H27. 10. 2 札幌市：梶原) 3) 第 29 回 国立病院理学療法士協議会理事会 (H28. 6. 18 東京医セン：梶原) 2. 国立病院九州医療技術協議会関係 <ul style="list-style-type: none"> 理事会参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ H27. 11. 27 九州医療センター（梶原） ・ H28. 1. 15 九州医療センター（梶原） ・ H28. 3. 4 九州医療センター（梶原） ・ H28. 9. 2 九州医療センター（梶原） 3. 平成 28 年度 NH0 九州グループ新規採用者研修講師 <ul style="list-style-type: none"> ・ H28. 6. 11 九州医療センター附属看護助産学校（梶原） 4. 九州部会関係 <ul style="list-style-type: none"> ・ PT・OT・ST 連絡会 H28. 5. 27 九州医療センター（梶原） ・ ハラスメント委員会（→職場環境を考える会に改名） <ul style="list-style-type: none"> H28. 2. 20：福岡東医療センター（梶原・坂本・大浦・羽島専門職） H28. 8. 5：肥前精神医療センター（梶原・大浦・羽島専門職） ・ 役員会 H28. 7. 24 鳥栖市（梶原・坂本・大浦） ・ 職場長会議開催 2 回 <ul style="list-style-type: none"> H28. 1. 30：九州医療センター（坂本・大浦） H28. 9. 10：福岡東医療センター（梶原・坂本・大浦） |
|------------|---|

活動報告

| | | |
|-----|--|---|
| 理事会 | 1. 理事会開催 第 19 回理事会 (H28. 9. 10 福岡東医療センター) | |
| 事務局 | 1. 文書発送 (随時) 2. 会員管理 3. 会費徴収 4. 総会、理事会、職場長会議議事録作成 5. 協議会ホームページ管理 (H. P. 担当) | |
| 学会局 | 第 10 回国立病院九州医療技術学会 (平成 28 年 1 月 30 日開催) 開催支援 場所: 福岡県立ももち文化センター 大ホール シンポジスト: 米澤武人 (長崎病院、OT) 実行委員: 梶原秀明 (理事)、羽島厚裕 (専門職)、藤崎暢 (事務局)、 横道信之・田中美和 (受付・案内)、岩本誠 (スライド)、伊集院万人 (余興) | |
| 研修局 | 1. P T・O T・S T 合同研修会 (P. 6) 平成 27 年 9 月 5 日 (土) 福岡東医療センター 2. 第 1 回神経難病・筋ジストロフィー研修会 (P. 6) 平成 27 年 12 月 19 日 (土) 九州医療センター 3. 第 4 回九州国立病院機構心臓リハビリテーション研修会 (P. 7) 平成 28 年 2 月 20 日 (土) 福岡東医療センター 4. 中堅職員のためのランクアップ研修会 「中堅療法士の担う中心的役割について」(P. 7) 平成 28 年 6 月 11 日 (土) 九州医療センター | |
| 調査局 | 1. 平成 28 年度診療報酬改定等の情報提供 2. 目標設定等支援・管理料、地域包括ケア病棟及び ADL 維持向上等体制加算についての調査・報告 3. 施設リハ部門紹介アンケート調査 2016 年度版の作成 | |
| 広報局 | 1. 九州部会広報誌発行 (2 回/年) 第 20 号: 平成 28 年 5 月 10 日 第 21 号: 平成 28 年 9 月 10 日 (本誌) | |
| 地区 | 福岡 | 特になし |
| | 佐賀 | 1. 長崎・佐賀合同研修会、懇親会開催 (P. 8) 平成 28 年 7 月 23 日 (土) 会場: 長崎川棚医療センター |
| | 長崎 | 1. 長崎・佐賀合同研修会、懇親会開催 (P. 8) 平成 28 年 7 月 23 日 (土) 会場: 長崎川棚医療センター |

| | |
|--------------------|--|
| 大分 | 1. 大分県支部懇親会開催 平成 28 年 3 月 11 日（金） |
| 熊本 | 特になし |
| 宮崎 | 1. 宮崎県 3 病院合同懇親会開催 平成 28 年 2 月 19 日（金） 2. 鹿児島・宮崎合同研修会開催（P. 9） 平成 28 年 6 月 18 日（土） 南九州病院 |
| 鹿児島 | 1. 第 1 回県内懇親会開催 2. 鹿児島・宮崎合同研修会開催（P. 9） 平成 28 年 6 月 18 日（土） 南九州病院 |
| 沖縄 | 特になし |
| 選挙管理委員会 | 特になし |
| キャリアアップシステム 委員会 | 1. 委員会（参加者：羽島・坂本） 第 11 回：平成 28 年 1 月 15 日（金）：肥前精神医療センター プリセプター養成講習会内容検討 第 4 回プリセプター養成講習会反省会 平成 28 年 3 月 19 日（土） 2. 第 4 回プリセプター養成講習会開催 会場：肥前精神医療センター 平成 28 年 3 月 19 日（土） |
| 倫理委員会 | 特になし |

研修会報告

PT・OT・ST 合同研修会

テーマ：「ケア・マネージャーからみた、地域包括ケアシステムの中のセラピスト ～ 期待したい役割 ～」

平成 27 年 9 月 5 日（土） 会場：福岡東医療センター

座長：福岡東医療センター 言語聴覚療法士長 佐藤 文保氏

講師：＜公社＞福岡県介護支援専門員協会 専務理事 松本 直人先生

第 1 回 神経難病・筋ジストロフィー研修会

平成 27 年 12 月 19 日 会場：九州医療センター

セッション 1

座長：長崎川棚医療センター（当時：現西別府病院）大浦 宏樹氏

演者：大牟田病院（当時：現佐賀病院）海老原 将太氏

西別府病院（当時）亀井 隆弘氏



セッション2

座長：九州医療センター 広田 美江氏

グループワーク・発表

参加者：33名

第4回 心臓リハビリテーション研修会

平成28年2月20日

会場：福岡東医療センター

講演1：心不全の基礎、リスク管理など

座長：福岡東医療センター 足立 直之氏

演者：福岡東医療センター 循環器医師 仲村 尚崇先生

講演2：当院外来心臓リハビリテーションについて

座長：東佐賀病院 山田 進也氏

演者：福岡東医療センター 理学療法士 足立 直之氏

理学療法士 西濱 佑斗氏

作業療法士 尾上 諒介氏

参加者：30名



中堅職員のためのランクアップ研修会

「中堅療法士の担う中心的役割について」

平成28年6月11日

会場：九州医療センター

座長：長崎医療センター 坂本浩樹氏

講師：特定医療法人財団博愛会 博愛会病院

リハビリテーション部 部長 岩尾 邦彦先生

参加者：39名



《目的は何？》

平成28年6月11日（土）、九州医療センターにて九州部会及び士長会主催の研修会を開催しました。数年来の待望のテーマであり、多くの先生方にアドバイスを頂きながら準備しました。目的は「自身のこれまでの職務経験をベースとしつつ、チームリーダーとして新たに求められる役割を再認識する。その上で、中核人材として求められる役割について認識を深め、職務行動の視点とあり方を学び、中堅療法士としてのモチベーションを高める。」とし、目標は、①組織の中核としての役割認識を深める。②職場の問題解決において、期待される役割を認識する。③自己課題の形成を図り、新たな視点を学ぶ。としました。

《それで 誰が来たの？》

講師には博愛会病院リハビリテーション部部長、岩尾邦彦先生をお招きしました。セッション1は講演、セッション2はグループディスカッション、セッション3はグループ発表のプログラムで開催しました。九州各県21施設からPT、OT、ST合計39名の方が参加されました。

《話し合ったの？》

グループディスカッションは合計6班。自己紹介、リーダー決め、書記、発表者決め後、ディスカッション開始です。各グループとも、真剣に、時には立ち上がり、笑い声も聞こ

え、活発に意見されていたのが印象的です。グループ発表時に共通していた事は、中堅はムードメーカーであり、実務・管理・教育等行い、職場のつなぎ役として職場長や若手に声を掛け、病院の方針や上司の移行を尊重し、適切に報告・連絡・相談を行い、自己管理を怠らず、チャレンジの精神で業務に取り込むといった内容でした。

《終わってどうだった?》

職場を超えて、意見を出し、話し合える仲間が居ることは心強く、励みになります。人は、人と話すことで自己を認識し、再発見し、刺激を受け、業務に反映でき、前向きな姿勢で勤務出来るのではないかと思います。この研修会は参加者、各施設、協議会全体のランクアップに繋がると感じました。

(国立病院理学療法士協議会九州部会 学術担当理事 坂本浩樹)



地区活動報告

佐賀地区・長崎地区

平成 28 年度 合同研修会・意見交換会

平成 28 年 7 月 23 日(土) 会場：長崎川棚医療センター

座長：嬉野医療センター 村上寿一氏

長崎病院 峰松俊介氏



会員発表

① 「訪問リハはじめました」

～平成 28 年夏～ 長崎川棚医療センター 篠崎貴志氏

② 「胸部下部食道癌術後 ARDS 発症症例」

～病態・人工呼吸器管理に合わせた理学療法プログラムについて～

長崎医療センター 林達矢氏

③ 「骨盤骨折呈した症例」

～安定した車椅子移乗を目指して～

長崎医療センター 古賀大地氏

④ 「長崎病院紹介」

長崎病院 原口玲未氏

⑤ 「心リハ学会参加報告と東佐賀病院の近況」

東佐賀病院 濱洋介氏

活動報告

⑥「精神科を一年経験して」 肥前精神医療センター 四宮美里氏

⑦「チーム医療を考える」

～一症例への多職種介入を通して～ 佐賀病院 海老原将太氏

⑧「疼痛から体動困難となった超急性期の無気肺・肺炎を呈した多発外傷例」

～疼痛コントロールによる早期離床を目指して～

嬉野医療センター 指山博伸氏

意見交換会

参加者 研修会：65名 意見交換会：41名



宮崎地区・鹿児島地区



平成28年度 鹿児島・宮崎県合同研修会

平成28年6月18日（土）13：00～

会場：国立病院機構 南九州病院

テーマ：「現状と将来展望」

平成28年6月18日に鹿児島・宮崎県合同研修会を南九州病院で開催しました。自分の職場の現状を知るためにも他の職場を知る事が大切と考え今回のテーマは「現状と将来展望」とさせていただきました。講演は南九州病院 看護部 教育担当師長の後平里奈子先生を講師に「南九州病院看護部の教育体制について」というテーマでお話していただきました。全国に先駆けて新卒職員が複数の施設を回り研修していく。最終的な就職先は研修終了後に選択できる等の試みは非常に興味深いもので、自分の新人時代の頃との教育システムの違いに驚かされました。一般演題では鹿児島医療センターの石原亮一理学療法士により「理学療法部門の臨床実習指導スタイルの変更」について発表していただき、現在の転勤を伴う組織での学生指導や新人獲得の在り方について、大幅に時間を延長するほどの白熱した議論となりました。またⅡ部では算定可能施設が増えつつあるがんりハビリテーションの現状報告をしていただき、いずれも各施設も今後の参考になったのではないでしようか？

当日の参加者は46名、意見交換会も35名と多くの方に参加していただき、理学療法専門職である 羽島厚裕先生をはじめ、今年が初参加となる作業療法専門職 高木利栄子先生

を中心に笑いの花が咲いているようでした。最後になりましたが、全てにおいてバックアップして下さった鹿児島県理事 南九州病院の吉永先生をはじめ、ご協力いただいたスタッフの先生方に心よりお礼申し上げます。有り難うございました。

(研修会長 黒岩剛成)

特別講演

「南九州病院看護部の教育体制について」

座長：南九州病院 吉永隆一郎氏

講師：南九州病院 看護部教育担当師長 後平里奈子先生

第Ⅰ部一般演題

座長：宮崎病院 榎木大介氏

1. TKA 後における非術側にみられた外側スラストの検討 宮崎病院 原田宣昭氏
2. 地域包括ケア病棟を導入して 宮崎病院 竹下明伸氏
3. 「呼吸サポートチーム：RST～活動と今後の展望～」都城医療センター 小川達矢氏
4. 言語聴覚療法の開設

～1年間の取り組みについて～指宿医療センター福原美樹氏(ST)

5. 鹿児島医療センター理学療法部門の臨床実習指導スタイルの変更

鹿児島医療センター 石原亮一氏

第Ⅱ部がんリハビリテーションの現状報告（がんリハ算定施設）

座長：鹿児島医療センター 田場要氏(ST)

1. 「復職を希望されるがん患者に対するリハビリテーションの経験」
南九州病院 松田志保氏
2. 「がんリハビリテーションの現状と問題提起」 南九州病院吉永隆一郎氏
3. 「がんリハの状況報告と今後の課題」 都城医療センター藤崎友里氏(OT)
4. 「当院のがんリハの現状報告と展望」 指宿医療センター 大浪徳明氏

講評

九州ブロック事務所理学療法専門職 長崎病院羽島厚裕氏

九州ブロック事務所作業療法専門職 西別府病院 高木利栄子氏(OT)

意見交換会

参加者 研修会：46名 意見交換会：35名



国立病院理学療法士協議会 九州部会活動計画（案）

第 44 期 活動計画

昨期同様 2025 年が切迫する中で、病床機能分化、地域医療への転換が図られる中、引き続き当協議会として何が必要か、何を備えていくべきか検討し実行に移す必要がある。昨期に十分行えなかった情報提供について、今期は職場の組み立てに必要な情報収集や提供体制に重点を置いていきたいと考える。当部会是他部会と比較し施設ごとの会員数が少ない現状にあり、施設規模や今後の情勢に適応した職場づくりをしていく中でポストの増加や会員数の増加を実現させていくよう努力していきたい。

研修及び人材育成については、部会会員構成の中で最も層の厚い中堅者の質の向上についてキャリアアップシステム委員会とも共同し、システムチックな体制を構築していきたいと考える。

その他の分野においても同様に施設間の情報交換がしやすくなるような体制づくりを行う。職場、IT 環境も整いつつある中で会報誌・HP、SNS を通じて調査報告や、職場紹介、各施設のマニュアルや評価表などの掲示を行っていく。

また作業療法士協議会・言語聴覚士協議会と連携をとりながらリハビリテーション部門の結束力を高めていく必要がある。引き続き九州部会の発展と円滑な会務運営にご協力をお願いしたい。

今期は沖縄で開催される総合医学会のホスト部会として任務を遂行していく必要があるため、学会当日の総会・意見交換会に是非出席をお願いしたい。

事業計画

| | |
|------------|---|
| 会長・ 副会長 | <ol style="list-style-type: none"> 本部協議会開催行事 <ol style="list-style-type: none"> 第 30 回 国立病院理学療法士協議会理事会（H28.11.10 那覇市） 第 43 回 国立病院理学療法士協議会総会（H28.11.11 那覇市） 第 31 回 国立病院理学療法士協議会理事会（H29.6 東京都） 国立病院九州医療技術協議会関係 <ul style="list-style-type: none"> 理事会参加 平成 29 年度 NH0 九州グループ新人研修会講師 九州部会関係 <ul style="list-style-type: none"> 職場長会議開催 2 回（1 月・9 月を予定） PT・OT・ST 連絡会への出席 職場環境を考える会への出席 部会会務全般統括 |
| 理事会 | <ol style="list-style-type: none"> 会議 2 回（1 月・9 月を予定） メールによる会議（随時） |

| | | |
|-----|---|--|
| 事務局 | 1. 文書発送 2. 会員管理 3. 会費徴収 4. 総会、理事会、職場長会議議事録作成 5. ホームページの随時更新（H.P. 担当） | |
| 学術局 | 1. 第6回国立病院理学療法士協議会九州部会学会 日時：平成29年1月28日（土） 13時～17時（予定） テーマ：来るべき未来に向かって～toward the upcoming future～ 学会長：口石副理学療法士長（佐賀病院） 会場：佐賀病院 研修ホール（120名収容可能） 予定募集演題数：12演題 2. 平成28年度業績集作成 | |
| 研修局 | 1. 研修会の企画・運営 平成28年12月 第2回神経難病・筋ジストロフィー研修会 平成29年2月 第5回九州国立病院機構心臓リハビリテーション研修会 平成29年6月「新人職員（5年前後の経験者）に対して」（案） 平成29年9月 PT・OT・ST合同研修会 | |
| 調査局 | 1. 施設リハ部門紹介アンケート調査（2017年度版）実施及び作成 2. 各種調査実施 | |
| 広報局 | 1. 会報誌発行（2回/年） | |
| 地区 | 福岡 | 福岡県内施設間のスタッフとの顔合わせを兼ねた研修会の開催を予定 |
| | 佐賀 | 平成29年夏に佐賀県主催で長崎県と合同の研修会を開催予定 会場は東佐賀病院予定 |
| | 長崎 | 平成29年夏に佐賀県主催で長崎県と合同の研修会を開催予定 会場は東佐賀病院予定 |
| | 大分 | 県内3施設合同の懇親会を予定 |
| | 熊本 | 未定 |
| | 宮崎 | 1. 宮崎県合同懇親会 日時：平成29年2月 場所：未定 2. 第13回鹿児島・宮崎県合同研修会 日時：平成29年6月 場所：宮崎東病院 学会長：荒井慎一運動療法主任 |
| | 鹿児島 | 1. 第2回県内懇親会開催予定 2. 第13回鹿児島・宮崎県合同研修会 |

活動計画

| | | |
|----------------|--|--|
| | | 日時：平成 29 年 6 月 場所：宮崎東病院 学会長：荒井慎一運動療法主任 |
| | 沖縄 | 第 70 回国立病院総合医学会の開催県として、施設間で協力して運営サポートを行う。そのための懇親会を検討 |
| 選挙管理委員会 | <p>・役員改選に向け公示・立候補の取り纏め、必要時選挙を実施予定。 （公示）平成 29 年 5 月下旬～6 月上旬（投票 90 日以前）を予定 平成 29 年 7 月上旬（投票 60 日以前）を立候補締め切り予定。 候補者が定員を超えた場合は第 44 期定期総会開催日に選挙を行う。 選挙すべき役員 会長：1 名、理事：若干名（各県 1 名理事含む）、監事：2 名以内</p> | |
| キャリアアップシステム委員会 | <p>1. 委員会開催 2. 第 5 回プリセプター養成講習会 開催予定</p> | |
| 倫理委員会 | 相談窓口業務 | |
| 職場環境を考える会（案） | <p>1. ハラスメント等についての現状調査 2. ハラスメントについての啓蒙事業（研修会開催等） 3. 勉強会開催（委員会内）</p> | |



第70回国立病院総合医学会ご案内 医療構造の変化と国立病院機構に問われる役割

—命ぐすい、温かい医療をひろげよう—

九州医療センター理学療法士長 広田 美江

11月といえば秋の風情から冬めいた感じの漂う頃ですが、南国沖縄は日差しも弱まり穏やかな過ごしやすい季節です。その11月11日より2日間に渡り、沖縄コンベンションセンター他4会場において、第70回国立病院総合医学会が開催されます。今回、記念すべき第70回を九州・沖縄で迎えることは、この上ない喜びであり光栄の至りです。全国津々浦々の国立病院機構の職員が集う中、リハビリテーション分野では、口演5セッション・ポスター21セッション計272演題の発表が行われます。またシンポジウムでは、地域包括ケアに向けたリハビリテーションの将来展望～活動と参加につながるリハビリテーションをめざして～と題し、昨今急務とされる地域包括ケアシステムの構築において期待される役割を担うべく、介護予防や地域ケア会議への参画や地域リハビリテーションに携わる人材の育成について、先駆的実践施設の例を参考に今後に向けた活動を参加者全員で考え、それぞれの職種や各施設の実情に応じた効果的な地域づくりについて検討を深めていきたいと考えています。

日々業務に追われる毎日ですが、サブテーマにある“命「ぬち」の薬「ぐすい」、温かい医療とは何か。沖縄の心癒される情景の中、美味しいお酒や食事と共にみんなで語らい心ふれあいましょう。九州・沖縄が、ホストとなる大切な学会です。南の島沖縄より、リハビリテーションの力強さと素晴らしさを全国に発信していきましょう！



会員投稿

心臓リハビリテーション指導士取得を目指して

鹿児島医療センター 理学療法士 黒岩剛成

平成27年度に鹿児島医療センターに異動となりました。当院はリハビリテーション科医師の下で心臓リハビリテーションを実施しており、以前から興味があった心臓リハビリテーション指導士取得を目標とし、臨床に取り組んできました。慣れないことばかりで、戸惑う場面も多かったですが、①リハ室でCPXを実施している。②外来心臓リハビリテーションを実施している。③10年以上心臓リハビリテーションに取り組んでいる石原理学療法士のサポートがあるという事で非常に恵まれた環境で経験を積むことができました。御蔭をもちまして今回無事に第17回心臓リハビリテーション指導士認定試験に合格する事ができました。当院は8月からリハビリテーション科医師不在となり、体制が大きく変わりましたが、スタッフと協力して体制を再構築していこうと思います。サポートして下さった先生方に、この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

議事録

平成 28 年度 PT・OT・ST 連絡会

日 時：平成 28 年 5 月 27 日

場 所：九州医療センター

参加者：梶原 PT 協議会会長、田中 OT 協議会会長、佐藤 ST 協議会会長
(羽島 PT 専門職、高木 OT 専門職)

議題

1. キャリアアップについて

管理業務に対して意欲が低い（希望していないと言われる）役職付きがいる

次世代の管理職を育成する目的にて、主任養成研修会(仮)を行いたいとの専門職からの要請

→ST 協議会の立ち位置をどのようにするのか考慮する必要あり

協議会が間接的に人事異動に関与するという点に対する懸念あり

「主任養成」という位置づけはメリット・デメリット双方ある

グループ主催にするか、専門職・協議会・士長会主催にするかもメリット・デメリット双方ある

→まずは各協議会の理事会で話をし、その結果を再度持ち寄ることとする

2. ハラスメントについて

委員会の今後の立ち位置についてどのようにすべきか？

基本的には介入は難しいというスタンスで良いのでは？

その情報を委員会内で共有するとアナウンスすべきでは？

→基本的なスタンスは「相談にのる」

その後、情報を共有することを公言するかどうかは委員会の中で再度検討

3. H28 年度総会について

・講演もしくはシンポジウム内容

→ハラスメントに関する話（一般職員向け）

具体的な講師についてはハラスメント委員会の中で検討

・場所、期日の確認

→福岡東医療センターにて 9/10 実施

4. 第 70 回総合医学会について

→理事会・総会の場所等を確認

5. 第 11 回医療技術学会について

→次回、懇親会は ST 協議会が担当

各協議会にて体制協力を図っていく

6. その他

震災時の安否確認について、各協議会にてどのように対応していくのか検討

国立病院理学療法士協議会九州部会 役員会

日時：平成 28 年 7 月 24 日（日） 16：00～17：30

場所：鳥栖市 出席者：梶原 秀明（会長）・坂本 浩樹（副会長）・大浦 宏樹（副会長）

1. 協議会関係

1) 協議会活動状況と今後の計画

事務局（ホームページ）・・・人事異動により局長、会計担当の変更があり、総会の開催に向け総務担当理事と綿密な打ち合わせが必要。ホームページの担当も同様に変更になり、更新も滞っている。早期に更新が出来るよう検討し、活用を図る。今後ホームページ上で調査局の調査結果や各施設のリハ部門紹介、評価表やマニュアル等掲載するようにし、情報公開ができるよう検討する。

研修局・・・6月の研修を終え、予定通りに開催出来た。9月総会時の研修を実施予定。

広報局・・・昨年同様に9月総会に向け、各期の実績をまとめると同時に総会資料として使える会報誌を作成予定。総会に向け早急に準備に入る必要がある。

調査局・・・10月から本格的に診療報酬適用となる目標設定支援管理料についての調査を行い、フィードバックを行う。それに併せ ADL 提供体制加算や地域包括ケア病棟等の実情を調査しデータを公開する。施設調査は今期内に実施する。

キャリアアップシステム委員会・・・第4回目の養成講習会も実施でき、新人教育の形は整ってきている。引き続き協議会としてもバックアップしていく。

倫理委員会・・・今のところ相談事例はない。人事異動により委員の交代も要検討。

2) 第43期総会日程と研修内容、場所について

今年は9月10日（土）で予定。場所は福岡東医センが新築され、研修室も整備されているのでお披露目の意味も込めて東に願います。

POS と例年共同で実施している研修会はハラスメントについてのテーマを検討中。

2. 本部理事会（H28.6.18）報告

九州部会活動状況を報告した。本年は総合医学会ホスト部会として理事会、総会、懇親会の開催場所の選定を行った。当日はメインの進行を務める。また総合医学会の内容について会長施設の広田氏と共同してシンポジウムの企画、シンポジスト選定、セッション分け、座長選定を行った。機器展示としてホンダ技研工業が歩行アシストの展示を行ってくださることになっている。

3. POS 連絡会の内容と検討事項について

九州医療技術協議会では次回リハ団体が副会長となり、意見交換会開催の責任者となる。STを中心に担当する。PTとしては可能な限り協力する。

4. 第70回国立病院総合医学会について

平成28年11月10日（木）13：00～17：00 理事会（沖縄県男女共同参画センター）

平成28年11月11日（木）

18：30～19：30 総会、19：30～21：30 意見交換会（沖縄県青年会館）

ホスト部会となるため、総会への参加呼びかけが必要。

5. 九州医療技術協議会について

1) 第11回医療技術学会について

次回リハ団体が副会長となり、意見交換会開催の責任者となる。STを中心に担当する。PTとしては可能な限り協力する。

2) 今後の医療技術学会における担当協議会スケジュールについて

次々回（第12回はリハ団体が会長となり、学会長及び実行委員長の責を担うことになる。OTを中心に担当することがPOSの連絡協議会で確認できている。PTとしては可能な限り協力する。

文責：梶原

九州部会 役員名簿

平成 28 年 9 月 1 日現在

会長

梶原 秀明（大分医療センター） 理学療法士長

副会長

坂本 浩樹（長崎医療センター） 理学療法士長

大浦 宏樹（西別府病院） 理学療法士長

理事

〔福岡〕 梶谷 泰央（大牟田病院） 運動療法主任
 〔佐賀〕 村上 寿一（嬉野医療センター） 副理学療法士長
 〔長崎〕 篠崎 貴志（長崎川棚医療センター） 運動療法主任
 〔大分〕 中園 尚志（別府医療センター） 理学療法士長
 〔熊本〕 高野 雅弘（熊本医療センター） 理学療法士長
 〔宮崎〕 榎木 大介（宮崎病院） 運動療法主任
 〔鹿児島〕 吉永 隆一郎（南九州病院） 理学療法士長
 〔沖縄〕 今村 康子（沖縄病院） 理学療法士長

監事

井形 勉（大牟田病院） 理学療法士長

選挙管理委員

福満 俊和（長崎医療センター） 運動療法主任
 溝口 智紀（大分医療センター） 理学療法士

局長

〔事務局〕 奥山 由美子（西別府病院） 副理学療法士長
 （会計担当）手光 文子（西別府病院） 理学療法士
 （HP 担当）山下 真由子（大分医療センター） 運動療法主任
 〔学会〕 山野 朋博（佐賀病院） 運動療法主任
 〔研修〕 与古田 巨海（九州医療センター） 運動療法主任
 〔調査〕 竹下 明伸（宮崎病院） 副理学療法士長
 〔広報〕 黒岩 剛成（鹿児島医療センター） 運動療法主任

キャリアアップシステム委員

羽島 厚裕（長崎病院） 理学療法士長
 坂本 浩樹（長崎医療センター） 理学療法士長

職場環境を考える会 委員（案）

羽島 厚裕（長崎病院） 理学療法士長
 梶原 秀明（大分医療センター） 理学療法士長
 坂本 浩樹（長崎医療センター） 理学療法士長
 大浦 宏樹（西別府病院） 理学療法士長

倫理委員

広田 美江（九州医療センター） 理学療法士長
 口石 智秀（佐賀病院） 副理学療法士長

国立理学療法士協議会九州部会 第44期活動スケジュール(案)

| | 会議 | 会長・副会長 | 事務局 | 研修局 | 学会局 | 広報局 | 調査局 | キャリアアップ システム委員会 | 選挙管理 委員会 | 倫理 委員会 | 職場環 境を考 える会 |
|------------|-----------------|----------------------------------|----------------------|---------------------------|--------------|-------|----------------|------------------------------|-----------------------|-----------|-------------------|
| H28 10月 | | | 会費徴収・本部送金 | | 部会学会開催準 備 | | | | | | |
| 11月 | | 本部協議会理事会・総会 | | | | | | | | | |
| 12月 | | 国立病院九州医療技術 協議会理事会 | 年賀状発送 | 第2回神経難病・筋ジスト ロフィー児者研修会 | | | | | | | |
| H29 1月 | 理事会 職場長会議 | | | | 部会学会開催 | | | 委員会開催 | | | |
| 2月 | | | | 第5回九州国立病院機構 心リハ研修会 | | | | | | | |
| 3月 | | | | | 業績集収集 | | | 第5回ブリセプター 養成講習会開催・ 反省会 | | | |
| 4月 | | 九州グループ新人研修講師 POS協議会連絡会 | 人事異動状況調査 名簿、連絡先作成 | | | 会報誌発行 | | | | | |
| 5月 | | 役員会 | | | | | | | 役員改選公 示 | | |
| 6月 | | 国立病院九州医療技術 協議会理事会 本部協議会理事会 | | 部会研修会 | | | | | | | |
| 7月 | | | 総会等案内(メールに て) | | | | | | 立候補者取 り纏め | | |
| 8月 | | | 総会等案内発送 | | | | 施設リハビリ 部門調査 | | | | |
| 9月 | 総会・理事会 職場長会議 | | 総会資料作成 | 総会時研修会 | | 会報誌発行 | | | 総会時、必 要に応じ選 挙実施 | | |
| 備考 | | | 随時、HP更新 | | | | 随時、調査実 施 | | | 随時、対 応 | 未定 |

編集後記

ブラジルの治安、財政が懸念されていましたが 2016 年リオ・オリンピック大会が無事に閉会しました。日本人選手のメダル獲得数は前回のロンドン大会を上回る 41 個を獲得しましたが、10 代、20 代の若い次世代選手の活躍が目立ったように感じました。沢山の人たちの気持ちを奮い立たせてくれたオリンピックではなかったでしょうか。私も若い次世代のスタッフに負けないように気持ちだけは持ち、痛む腰に鞭を入れ、各職場、九州部会のチームワークを高めていきたいです。

会報誌第 21 号を発行するにあたり、会員の皆様にご執筆いただき完成する事ができました。ご多忙中にもかかわらず快く原稿執筆を引き受けていただきまして本当にありがとうございました。今後とも、会員の皆様のご協力よろしく願いいたします。またご意見・ご要望等をお寄せいただければ幸いです。

広報局国立病院機構鹿児島医療センターリハビリテーション部黒岩剛成

E-mail : kuroiwa27@kagomc2.hosp.go.jp